

広島港出島地区
国際海上コンテナターミナル整備事業

費用便益分析に係るバックデータ

事業名	広島港出島地区国際海上コンテナターミナル整備事業
-----	--------------------------

1. 事業概要

構成施設	岸壁(水深12m)、航路・泊地(水深12m)、泊地(水深12m)、荷役機械	
事業期間	令和4年度～令和6年度	
事業費	120億円	

※税込

2. 費用

	単純合計	基準年における現在価値(C)
建設費	109.1億円	100.3億円
管理運営費等	16.8億円	5.8億円
合計	—	106.1億円

※税抜

3. 便 益

	単年度便益	基準年における現在価値(B)
①ダイレクト輸送による海上輸送コスト削減効果(コンテナ貨物)	15.0億円/年	266.2億円
②残存価値	0.4億円	0.1億円
合計	—	266.2億円

4. 結 果

費用便益比(B/C)	2.5
純現在価値(B-C)	160.1億円
経済的内部収益率(EIRR)	10.4%

5. 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比
需要	80,618TEU	±10%	2.1～2.9
事業費	120億円 ※現在価値換算前	±10%	2.3～2.8
事業期間	3年	±10%	2.5

6. 費用便益分析の条件

計算期間	令和4年度～令和56年度	社会的割引率	4%	評価基準年度	令和3年度
------	--------------	--------	----	--------	-------

事業名	広島港出島地区国際海上コンテナターミナル整備事業
-----	--------------------------

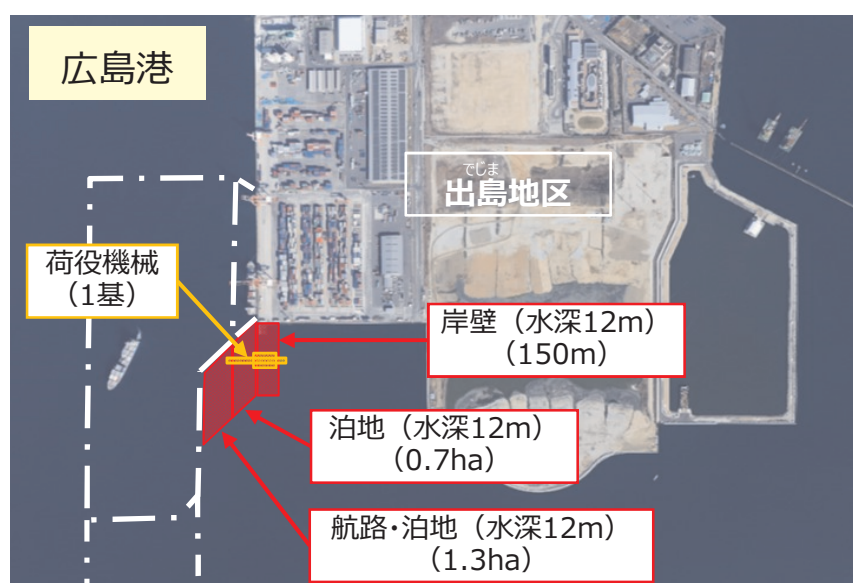
■建設費内訳

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
工事費(税込)				
岸壁(水深12m)	式	1	108.0	
本體工 他一式	m	150	108.0	
航路・泊地(水深12m)	式	1	2.0	
浚渫工	ha	1.3	2.0	
泊地(水深12m)	式	1	1.0	
浚渫工	ha	0.7	1.0	
荷役機械	式	1	9.0	
荷役機械	基	1	9.0	
合計(税込)			120.0	
合計(税抜)			109.1	

■管理運営費等

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
管理運営費等(税抜)	式	1	16.8	

■概要図



■便益計算の考え方(広島港出島地区国際海上コンテナターミナル整備事業)

①ダイレクト輸送による海上輸送コスト削減効果(コンテナ貨物)

without (整備なし)	広島港から海外港でトランシップし東南アジアに輸送
with (整備あり)	広島港から東南アジアにダイレクト輸送

○便益計算

項目	with	without	備考
----	------	---------	----

<輸送費用>

①年間貨物量(TEU/年)	46,812		広島県資料及び利用者ヒアリング等による需要推計を基に設定 タイ:輸出15,783TEU、輸入10,230TEU ベトナム:輸出17,618TEU、輸入3,181TEU
②船型(TEU)	2,700	900~4,300	利用者ヒアリングを基に設定
③海上輸送時間(片道)(日)	4.6、6.2	6.2、6.3	利用船舶の実態を基に設定 ※仕向地はタイ(レムチャバン港)、ベトナム(ホーチミン港)の2箇所
④コンテナ1個あたりの海上輸送費用原単位(円/個)	22,317~ 43,453	27,999~ 45,658	②、③を踏まえ、港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル 表Ⅲ-1-11を基に設定
⑤コンテナ1個あたりのトランシップ費用原単位(円/個)	0	20ft: 12,000 40ft: 18,000	港湾投資の評価に関する解説書 表2-1-16を基に設定
⑥海上輸送費用(百万円/年)	934.6	1,475.2	$\Sigma ① \times (④ + ⑤)$

<輸送時間費用>

⑦コンテナ1個あたりの輸送時間費用原単位(円/時・個)	輸出: 2,300(40ft)、1,600(20ft) 輸入: 1,800(40ft)、1,200(20ft)	港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル 表Ⅲ-1-12を基に設定	
⑧輸送時間費用(百万円/個)	6,777.0	7,737.1	$\Sigma ① \times ③ \times ⑦$

⑨輸送コスト(百万円/年)	7,711.6	9,212.4	⑥+⑧
輸送コスト削減額(億円/年)	15.0		without時⑨-with時⑨

※⑥、⑧の算出にあたっては、TEUを個に換算している。